

写真新世紀



写真表現の新しい可能性に挑戦する



2021年度【第44回公募】受賞作品展

10.16-11.14

Saturday

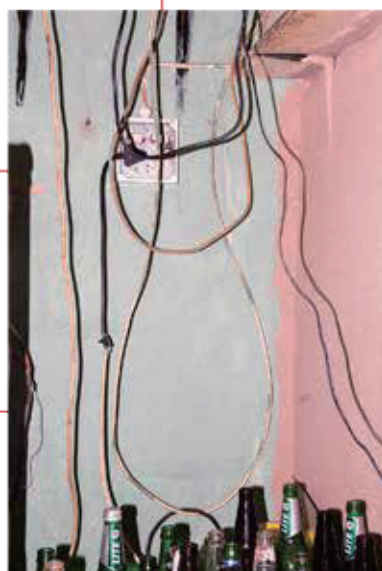
Sunday

【同時開催】

2020年度グランプリ受賞者
新作個展

「super smooth」
樋口 誠也

新人写真家の発掘・育成・支援を目的とするフォトコンテスト



**The Exhibition of New Cosmos of
Photography 2021**

東京都写真美術館

TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

地下1階展示室

恵比寿ガーデンプレイス内

開館時間=10:00~18:00 ※入館は閉館の30分前まで

休館日=毎週月曜日

※事業はやむをえない事情で変更することがございます。

最新情報は写真新世紀ホームページでご確認ください。

主催=キヤノン株式会社

共催=公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館

【お問い合わせ】キヤノン株式会社 写真新世紀事務局

〒146-8501 東京都大田区下丸子 3-30-2

TEL:03-5482-3904

写真新世紀ホームページ: global.canon/ja/newcosmos

入場無料



Canon

“写真で何ができるだろう？写真でしかできないことは何だろう？”

写真新世紀展 2021 [第44回公募]受賞作品展

「写真新世紀」は、写真表現の可能性に挑戦する新人写真家の発掘・育成・支援を目的として、キヤノンが1991年にスタートした文化支援プロジェクトです。これまでの応募者総数は35,550名(組)に上り、国内外で活躍する優秀な写真家を多数輩出するなど新人写真家登竜門として広く認知されています。

発足当時より自由で独創的な形式の写真作品を応援、2015年からはカメラの進化に合わせた静止画・動画のデジタル作品に門戸を広げ、ジャンルを問わない新しい視点による作家の創作活動を支援し、グローバルにプロジェクトを展開してきました。

今年の公募には2,191名の方がチャレンジし、その中から審査員7名がそれぞれに優秀賞、佳作を選出しました。「写真新世紀展 2021」では、それら受賞作品をご紹介します。

11月12日(金)には、グランプリ選出公開審査会を開催し、優秀賞受賞者7名の中から本年度のグランプリが選出される予定です。グランプリには、賞金100万円とキヤノンカメラ製品50万円相当が贈られます。

本展では、2020年度のグランプリ受賞者樋口誠也氏の新作個展を同時に発表するほか、10月17日(日)には、出展者によるアーティスト・トークを1階ホールにて行います。また、11月13日(土)には、歴代受賞者で本年度の審査員である横田大輔氏と安村崇氏によるトークショーを二部構成で企画しています。

本年度で最後とする公募から誕生した、才能溢れる若手写真家たち。コロナ禍にありながらも現代を見つめる斬新な眼差しと写真表現の可能性に触れていただければ幸いです。

優秀賞受賞者 ※五十音順敬称略



賀来 庭辰
「THE LAKE」(樺木 野衣 選)



千賀 健史
「OS」(オノデラユキ 選)



テンビンコシ・ラチュフヨ
「Slaghuis II」(清水 穰 選)



中野 泰輔
「やさしい沼」(ライアン・マッギンレー 選)



光岡 幸一
「もしもいつも」(横田大輔 選)



ロバート・ザオ・レンファイ
「Watching A Tree Disappear」(グエン・リー 選)



宛 超凡
「河はすべて知っているー荒川」(安村 崇 選)

佳作受賞者

速藤 文香
「Kamuy Mosir」(オノデラユキ 選)

掛川 陽介
「RALLY」(ライアン・マッギンレー 選)

kikusahappa
「いつかあなたと話す時のために」(横田 大輔 選)

工藤 雅
「東京サイアノ・ゴースツ」(オノデラユキ 選)

小池 周司
「Worlds in a small box (crisis of the biodiversity in the fresh water, but little hope is here)」(安村 崇 選)

紺田 達也
「I want your love」(ライアン・マッギンレー 選)

近藤 愛助
「Diaspora Memories」(清水 穰 選)

ノモト ヒロヒト
「ヤレ」(清水 穰 選)

橋本 貴雄
「Kette」(樺木 野衣 選)

Fujimura Family
「PROOF OF LIVING」(グエン・リー 選)

松村 和彦
「見えない虹」(グエン・リー 選)

宮本 浩希
「1456,533」(安村 崇 選)

安原 千夏
「See Saw 2021」(横田 大輔 選)

山田 星太郎
「KINGDOM」(樺木 野衣 選)

審査員

ライアン・マッギンレー (写真家)、オノデラユキ (写真家)、清水 穰 (写真家評論家)
グエン・リー (シンガポール国際写真フェスティバルディレクター)
樺木 野衣 (美術評論家)、安村 崇 (写真家)、横田 大輔 (写真家)



10.17 sun.

アーティスト・トーク

日時 2021年10月17日(日)
第一部 14:30 ~ 15:40 / 第二部 16:00 ~ 17:30

会場 東京都写真美術館1階ホール

定員 先着90名(事前予約制)

内容 第一部 2021年度佳作受賞者による作品紹介とスライドショー
第二部 2021年度優秀賞受賞者7名と2020年度グランプリ受賞者による作品紹介、制作に関するプレゼンテーション

申込方法 メールで表題を「アーティスト・トーク申し込み」とし、ご希望の部と氏名を明記の上、cast@mail.canonまで送信してください。

11.12 fri.

グランプリ選出公開審査会、表彰式

優秀賞7名が受賞作品についてプレゼンテーションを行い、審査員の審議により本年度のグランプリを選出します。

日時 2021年11月12日(金) 開場 14:00 ~
審査会 14:30 ~ 16:30 / 表彰式 17:30 ~ 17:50

会場 東京都写真美術館1階ホール

定員 先着90名(事前予約制)

申込方法 メールにて、お申込みください。
メールの表題を「グランプリ選出公開審査会への参加希望」とし、住所、氏名、参加人数(2名様まで可)を明記の上、送信先: cast@mail.canonまで送信してください。
なお2名様で参加希望の方はその方の氏名もご記入ください。
(個人情報の取扱いについては写真新世紀ホームページにてご確認ください。)

受付期間 10月1日(金)より受付を開始し、満席になり次第終了します。
(満席のお知らせはホームページで行います。)

※グランプリ受賞者には、奨励金として100万円、副賞のデジタル一眼レフカメラのほか、特典として次年度の受賞作品展における個展開催の権利などが授与されます。
※新型コロナウイルス感染症の影響により変更等が生じる場合がございます。



※新型コロナウイルス感染症の影響により、「写真新世紀展 2021」および関連イベントの中止、または日時の変更や定員の調整などを行う可能性があります。最新情報については「写真新世紀」ホームページをご確認ください。

11.13 sat.

写真レクチャー／トークショー

本年度の審査員、横田大輔氏、安村崇氏の写真レクチャーを二部構成で開催します。国内外の写真・アートシーンで精力的に活動されてきたお二人に、写真新世紀応募当時のエピソードから受賞作品、そしてこれまでの歩みを作品を通じてご紹介いただきます。

日時 2021年11月13日(土)
第一部 14:00 ~ 15:00 講演: 横田 大輔
第二部 15:30 ~ 16:30 講演: 安村 崇

会場 東京都写真美術館1階ホール

定員 先着90名(事前予約制) 入れ替え制

申込方法 メールで表題を「写真レクチャー／トークショー申し込み」とし、ご希望の部と氏名を明記の上、cast@mail.canonまで送信してください。

11.14 sun.

歴代受賞者によるスライドショー

日時 2021年11月14日(日) 13:00 ~ 16:00

会場 東京都写真美術館1階ホール

出演者 歴代受賞者(現在調整中、ホームページで発表します。)

定員 先着90名(事前予約制)

申込方法 申込方法は9月30日(木)、「写真新世紀」ホームページに掲載予定。

関連イベント 赤鹿麻耶写真展「ときめきのテレパシー」

日時 2021年10月14日(木) ~ 11月24日(水) 10:00 ~ 17:30
※日曜日・祝日は休館日

会場 キヤノンギャラリー S 東京都港区港南2-16-6 キヤノン S タワー1階
JR「品川駅」港南口より徒歩約8分 京浜急行「品川駅」より徒歩約10分

出展者 赤鹿 麻耶(写真新世紀2011年度グランプリ受賞者)

観覧方法 事前予約不要

入場料 無料

もう一度見てみたい歴代受賞者の受賞作品は？ お気に入りの作家にご投票ください！

皆様の投票によりトップ10に選ばれた歴代受賞者(グランプリ・優秀賞・佳作)の受賞作品を来秋、「写真新世紀30周年回顧展」でご紹介します。
ぜひ、お気に入りの作家にご投票ください！

※QRコードにアクセスし、歴代受賞者のもう一度見てみたい受賞作品にご投票いただく形式です。
※投票はお一人様1票とさせていただきます。

投票期間 2021年10月16日(土) ~ 2022年4月2日(金)

投票方法 「写真新世紀展 2021」会場内のQRコードから、もしくは写真新世紀ホームページよりご投票ください。

発表 2022年4月15日(木) 写真新世紀ホームページ/ Twitter



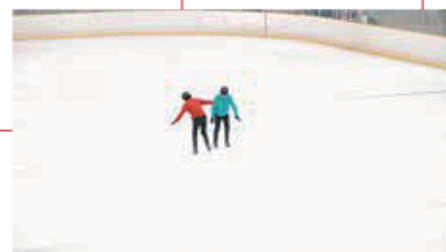
【同時開催】

2020年度グランプリ受賞者新作個展

super smooth

樋口 誠也

生活が「つるつる」したものになったと感じている。
変わっていく状況を自分自身で分析する間もなく、
気がつくと様々なことが過ぎ去っていく。
周りとの接点や摩擦が減ることで円滑に進むこともあるが、
自分の足で歩いている実感が薄れる。
表面をただ滑りつづけているような状況の中で、
私は一度立ち止まりたいと思った。



東京都写真美術館
TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

JR恵比寿駅東口より徒歩約7分
東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分
専用の駐車場はありません。お車でご来場の際は近
隣の有料駐車場をご利用ください。

恵比寿ガーデンプレイス
東口 動く通路
至 渋谷
JR恵比寿駅
日比谷線恵比寿駅 1番出口
TOP MUSEUM